

## 2020 年度事業報告

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

(2021 年 6 月 26 日 第 8 回定時社員総会で承認)

### 1. 概況

2020 年 9 月 16 日、菅政権が発足し「自助・共助・公助」を基本とした困窮者に寄り添わない政治が一層押し進められました。新型コロナウイルス感染拡大の影響による経営破綻は 2020 年 2 月からの累計で 1,000 件を越え、2021 年 2 月の完全失業率も 2.9%と前年比で 0.6%上昇しました。コロナの影響で減収した世帯を対象にした緊急小口資金の特例貸付決定件数は 100 万件を超えました。コロナに関連した解雇や雇い止めは累計 10 万人に、内、非正規雇用の解雇・雇い止めが 4 万人を超え、2020 年の自殺者は前年比 4.5%増加し、2 万人を超えました。コロナの収束が見通せず、雇用が安定しない中、多くの世帯で生計維持が難しくなっている実態が明らかになっています。このような中、政府は雇用保険財政がひっ迫していることを理由に 5 月以降雇用調整助成金の対象企業水準の変更を打ち出しているため、今後更なる雇用調整が行われる状況です。このような中、生活保護申請数は 6 ヶ月連続で前年度を上回る一方で、コロナ禍で困窮に陥っても、3 人に一人が「家族に知られたくない」を理由に生活保護の申請をためらうなど、社会保障を権利と考えさせない社会がつくられています。

低医療政策で「病床を減らし効果的な医療体制」に変えてきた結果、コロナ感染拡大により救急搬送困難が倍増し、各地で医療崩壊の危機が迫りました。医療体制がひっ迫し、感染しても入院先が見つからず、自宅待機を余儀なくされている状況や、入院できないまま自宅で亡くなる状況も出ています。このような状況でもなお医療供給体制の縮小方針は変えず、医療機関への減収補填は行われていません。それどころか医療法等改定案では病院再編・病床削減をする地域医療構想の実現のため、統廃合や病床削減を行った医療機関には給付金を支給し、減税を行など一層押し進めようとしています。2 月 3 日、改正特措法、改正感染症法が成立しました。指示に従わない感染者への行政罰の導入、病床確保勧告に従わない医療機関名を公表することとしました。感染症とのたたかいで日夜奮闘する医療機関に対し、減収補填などの要求には一切応じず社会的制裁を科すなどはありません。医療機関は地域医療を維持するためにそれぞれの役割を果たしておりこのような改正は断じて認められるものではありません。

2020 年度の山梨勤医協の医療・介護活動では、外来件数は目標比 87.2%、前年比 89.1%でした。入院件数は目標比 92.8%、前年比 94.5%でした。介護活動は居宅介護支援(ケアプラン)件数が目標比 101.8%、前年比 104.2%、訪問看護件数が目標比 99.9%、前年比 100.1%、

訪問介護件数が目標比 117.3%、前年比 112.5%、通所リハ件数が目標比 78.8%、前年比 89.8%、通所介護件数が目標比 85.7%、前年比 63.7%、居宅療養管理指導件数が目標比 99.7%、前年比 101.6%、訪問リハ件数が目標比 97.9%、前年比 99.5%でした。

経営成績では、全事業所合計（共立高看含む）で経常利益 148,127 千円（収益比 1.3%、予算比 74.6%）となりました。税引前当期利益は 459,278 千円（予算比 4.1%）となりました。群別の経常利益では、病院群 153,863 千円、医科診群 5,567 千円、歯科診群△14,588 千円、在宅ケア群 62,082 千円でした。3 月末現預金残高は 24 億 1,565 万円となり、期首より 15 億 49 万円の増加となりました。月商倍率 2.58 倍でした。協力借入金は期首より 34,317 千円の増加、協同基金も同 19,750 千円の増加となりました。

受療権を守る取り組みとしての無料低額診療は実日数で総患者数に対し 6.4%となり前年より 0.2 ポイント減少しました。事業所別では、甲府 9.97%、巨摩 2.78%、石和 11.55%、甲府診 6.65%、武川診 2.11%、御坂診 1.04%、竜王診 5.05%、歯科センター 3.86%、武川歯科 1.3%、御坂歯科 0.88%、巨摩歯科 0.66%でした。

後継者確保では、2020 年度新採用は医師 7 名、歯科医師 3 名、薬剤師 2 名、保健師 0 名、助産師 0 名、看護師 33 名、放射線技師 0 名、臨床検査技師 3 名、臨床工学技士 0 名、理学療法士 8 名、作業療法士 2 名、言語聴覚士 3 名、管理栄養士 0 名、調理師 2 名、事務員 5 名、社会福祉士 2 名、歯科衛生士 1 名、視能訓練士 0 名、介護福祉士 0 名、歯科技工士 0 名でした。

友の会会員は 15,923 世帯、343 世帯拡大し、退会が 965 世帯です。「いつでも元気」誌は 114 増部、136 部の減で 1,260 部となりました。班会は、251 回開催し、1,775 名が参加しました。

## 2. 組織の概況

### ①社員総会の決議

2020 年 6 月 27 日開催			第 7 回定時社員総会 重要な議事・決議事項
総数 271 名			①2019 年度事業報告承認
うち議決権のある社員数 223 名			②2019 年度決算報告及び 2019 年度監査報告承認
			③2020 年度役員報酬の限度額の承認
出席数	本人	44 名	④2020 年度借入金限度額の承認
	委任	12 名	⑤名誉会員推薦承認
	書面	97 名	⑥役員(理事・監事)の選任
合計		153 名	⑦山梨勤労者中長期計画の基本方針の確定

②組織図

後述

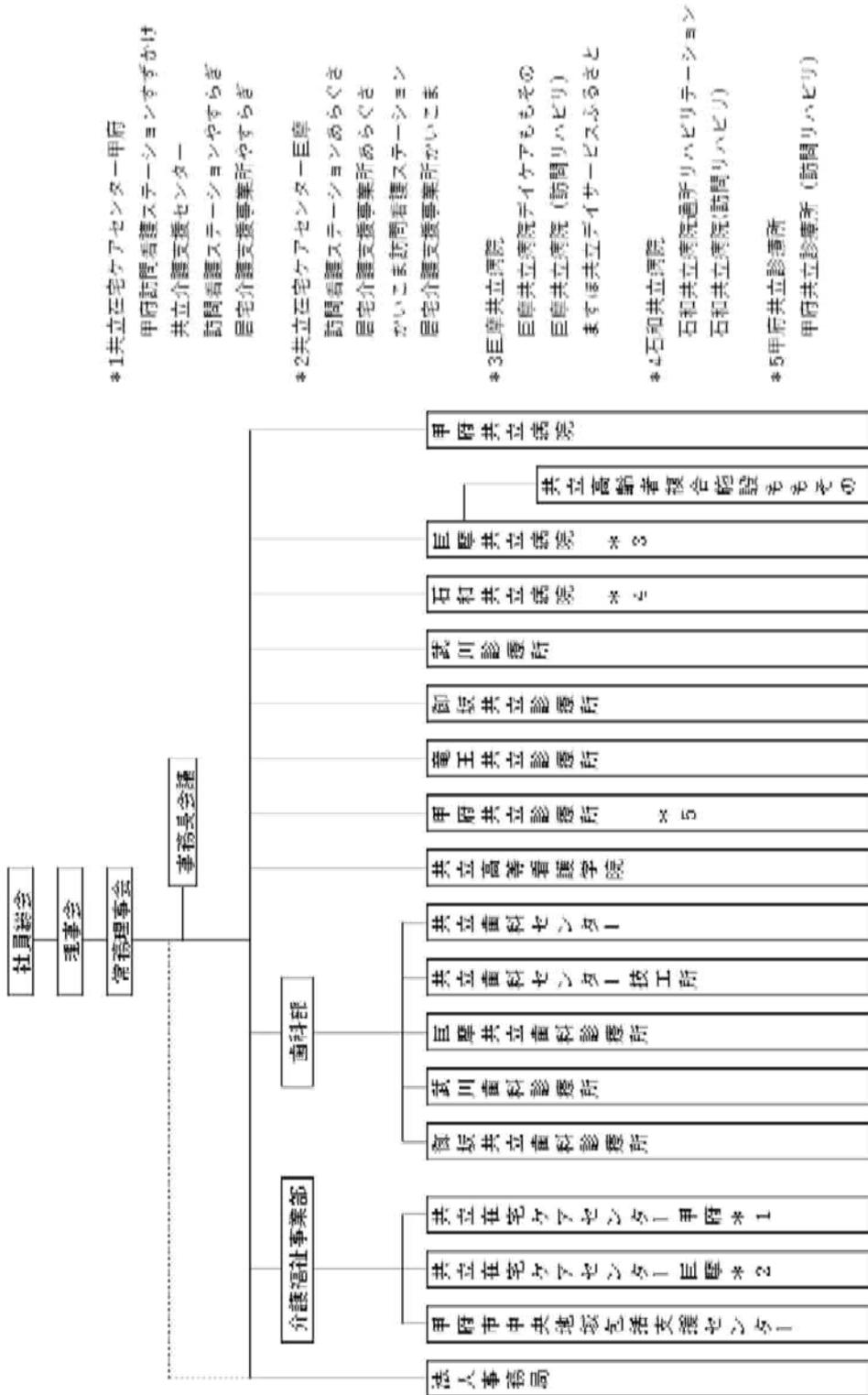
③施設数の推移(2021. 3. 31 現在)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
病院	3	3	3	3	3
有床診療所	0	0	0	0	0
無床診療所	5	5	5	4	4
歯科診療所	4	4	4	4	4
歯科技工所	1	1	1	1	1
在宅ケアセンター	5	5	5	3	2
（居宅介護支援事業所）	5	5	5	5	4
（訪問看護ステーション）	6	6	6	6	4
（ヘルパーステーション）	3	3	2	2	0
（介護輸送）	2	2	1	1	0
（福祉用具販売・レンタル）	0	0	0	0	0
包括支援センター	1	1	1	1	1
高齢者施設	1	1	1	1	1
看護学院	1	1	1	1	1

④社員・共同組織の状況(2021. 3. 31 現在)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
会員(名)	264	276	275	271	283
内訳 正会員	235	239	233	223	232
内訳 名誉会員	29	38	42	48	51
友の会員（世帯）	18,092	17,538	17,036	16,544	15,923
班数	148	148	153	135	136

⑤組織図(2021.3.31現在)



⑥施設の状況(2021.3.31現在)

施設名	所在地	摘要
山梨勤労者医療協会 (法人事務局)	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル7階	1955/6/1 創立
甲府共立病院	甲府市宝1-9-1	1961/7/1開設
巨摩共立病院	南アルプス市桃園340	1965/11/1開設
石和共立病院	笛吹市石和町広瀬623	1971/5/25開設
武川診療所	北杜市武川町牧の原1371	1959/7/1開設
御坂共立診療所	笛吹市御坂町八千蔵538-1	1976/9/1開設
竜王共立診療所	甲斐市富竹新田231-1	1993/7/1 開設
甲府共立診療所	甲府市宝1-10-5	2005/12/26開設
共立歯科センター	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル	1974/5/1開設
共立歯科センター技工所	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル	2014/9/1開設
巨摩共立歯科診療所	南アルプス市桃園340-1	2014/10/1開設
御坂共立歯科診療所	笛吹市御坂町八千蔵535-1	1986/3/17開設
武川歯科診療所	北杜市武川町牧の原1371	1986/4/1開設
甲府市中央地域包括支援センター	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル4階	2006/4/1 開設
共立在宅ケアセンター甲府	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル4階	1997/5/1開設
共立在宅ケアセンター巨摩	南アルプス市桃園377-2	1996/12/1開設
共立在宅ケアセンター甲府(竜王)	甲斐市富竹新田401-4	1999/10/1開設
共立在宅ケアセンター巨摩(武川)	北杜市武川町牧の原1371	1999/4/1 開設
共立高齢者複合施設ももその	南アルプス市桃園379	2011/11/2開設
共立高等看護学院	甲府市飯田3-1-35	1974/2/27許可